



決意新たに新春書き初め

大 石田中学校で3学期のスタートとなる1月6日(金)に恒例の書き初めが行われました。はじめに、講師の井上祥子さん(佐田町)と、井上さんの書道教室に通う生徒による書道パフォーマンスが行われ、今年の干支「酉」のさまざまな字体やニワトリの鳴き声などを横長の大きな紙に書いたほか、井上さんが1年生の課題「限界に挑む」と、2・3年生の課題「確かな成長」を力強く書いて生徒らに披露しました。

その後の書き初めでは、井上さんが会場を回りながら、真っ直ぐ書くことなどポイントを指導し、生徒たちは最後の1字まで集中して課題の言葉に取り組んでいました。



一人暮らし高齢者へ手作り年賀状

町 内3つの保育園の園児が町内の65歳以上の一人暮らし高齢者に手作りの年賀状を送りました。これは、町交通安全推進協議会が高齢者の交通安全と健康を呼びかけるため毎年実施しているものです。

このうち、ふたば保育園では12月12日(月)に5歳児20名が、今年の干支である酉の年賀状を紙版画で制作しました。子どもたちは「とり」をかたどった版にローラーでインクを塗り、パレンでしっかりと年賀状にこすりつけて、交通事故にあわず元気で明るく過ごせますようにと心をこめて手作りの年賀状を作りました。年賀状は158名の一人暮らし高齢者におくられました。



静かに、白熱した戦い

社 会福祉協議会と町老人クラブ連合会が主催する第35回新春高齢者囲碁将棋大会が、1月11日(水)に老人いこいの家で開催されました。大会には町内の高齢者16名が参加し、静かな会場に碁石や駒を打つ音が響き、白熱した戦いが繰り広げられました。結果は下記のとおりです。

- 『囲碁の部』 第1位 宮田 登(佐田町)
 第2位 加賀昭太郎(南通)
 第3位 桐井 義人(庚申町)
- 『将棋の部』 第1位 伊藤 久夫(朝日町)
 第2位 森 昇一(田沢下)
 第3位 村岡 力雄(鷹巣2)



サンタ姿で手作りプレゼント

ク リスマスイブの12月24日(土)に福祉ボランティア「いこいの会」(森昇一会長)のメンバーによる、一人暮らしなどの高齢者へのクリスマスプレゼント配布が行われました。いこいの会では、一人暮らしの方にもクリスマス気分を味わってもらおうと毎年この時期に手作りの贈り物をしていて、今回は県産の杉を使った小物入れを手作りし、中にお菓子を詰めて配りました。

この日はメンバーがサンタクロースの姿に扮して町内の約40軒をまわり、「元気でね」などと声をかけながら一人ひとりにプレゼントを手渡しました。受け取った方はサンタクロースの訪問に顔をほころばせて「いつもありがとう」と手作りの贈り物を喜んでいました。

おせちで明るく元気な正月を

食 生活改善推進員連絡協議会(佐藤スミエ会長)のメンバーによる、おせち料理作りが12月28日(水)に母子健康センターで行われました。これは町内の高齢者に、地元の食材を使用した手作りのおせち料理を食べてもらい、元気で明るい正月となるよう毎年実施しているものです。

今年の献立は昆布巻きにしんやぼう鱈(だら)煮、黒豆や栗きんとんなど7品。メンバーの畑で採れた食材もふんだんに使用し、自宅などで3日前から手作りしたおせち料理が色鮮やかに盛り付けられました。配送には町社会福祉協議会の配達ボランティアが協力し、おせち料理約80個と初めが一人暮らしなどの高齢者の元へ届けられました。



伝統行事だんごさしを体験

大 石田保育園で1月13日(金)に小正月の伝統行事だんごさしが行われました。この日は4歳児10名が団子をこねるところから取り組みました。また、地域の方との交流を目的に鷹巣地区の方も招かれ、子どもたちと一緒に作業を楽しみました。

子どもたちは自分でこねた赤、黄、緑、白など色とりどりの団子を、保育園の入り口に設置されたミズキの枝に手を伸ばして飾り付け、子どもの手が届く低い枝がいっぱいになってしまうと、保育園の先生や地区の方から抱えられて、だんご木の全体を色鮮やかに飾り付けていました。

